

# きんぎ



2020年1月  
第109号



発行：広報委員会  
病院長：有田憲生

〒664-8533  
兵庫県伊丹市車塚3-1  
☎072-781-3712

- 年頭の辞
- スタッフ紹介：南看護師／近中三線＆ウクレレ部です！
- HOT TOPICS：心電図検定に合格しました！
- まい眼科クリニックを紹介します！

近畿中央病院広報誌



# 年頭の辞

病院長 有田 憲生



分水嶺  
とは

新年明けましておめでとうございます。京阪神や大阪在住の方は、冬になると日本海側にカニを食べに行く機会があると思います。サンマやサバの記録的不漁が報じられていますが、カニの不漁はあまりいわれていません。さて、京阪神から日本海に向かうと、必ず峠を越えないといけないことになります。地形には、分水嶺（分水界）という場所があります。この地点を境界として、一方では瀬戸内海側へ、他方では日本海側に川は流れます。分水嶺をつなげると、日本の本州を北から南に連続した一本の線が出来上がります。この線は、中央分水界と呼ばれます。分水嶺の断面図を見ると、標高はもちろん一定ではなく、凸凹があります。

兵庫県  
には

さて、兵庫県の分水嶺には、ある特徴があります。それは、中央分水界の最も標高の低い地点が兵庫県にあるからです。その地点は、丹波市氷上町石生（いそう）にあり、標高は95mです。中央分水界の最高点は乗鞍岳で、標高3026mです。この近くに「水分かれ（みわかれ）公園」があります。この

地点より南側は加古川へ流れ、北側は由良川にそそぎます。福知山線に乗ると、宝塚、篠山口、柏原（かいばら）などを過ぎ、石生に達します。兵庫県の山中には、観光名所が少ないようですが、石生の水分かれ公園を訪れ、足を伸ばして桂小五郎（木戸孝允）が禁門の変後に潜伏していた出石でそばを吃るのはどうでしょうか。三島由紀夫の小説「金閣寺」の主人公が、「金閣を焼かなければならぬ」と決意を固めたのは水分かれ公園から流れ出した川の下流となる由良川河口付近とされています。私が分水嶺に興味を持ったのは、脳梗塞の一型に分水嶺梗塞と呼ばれるものがあるからです。

本年もよろしくお願いします。





# 心電図検定



循環器内科医員  
林 済亨

資格  
試験



# 心電図検定

## ● 心電図検査について

心電図検査は、血液検査やレントゲンとならび、病院での診察や健康診断でよく施行される一般的な検査です。1903年にオランダのアイントーベンにより開発され、すでに100年以上の歴史をもちますが、症例によっては熟練した医師でも読み間違えることがあります。正確な判断には深い洞察力と多くの経験、訓練が求められます。医療従事者にとって心電図判読はとても重要ですが、「心電図って難しい！」と感じる人も多くいます。苦手意識を克服するために、当院職員（初期研修医、看護師、臨床検査技師）で相互学習を行い、心電図検定を受けてみました。

## ● 心電図検査とは

心電図検定とは、日本不整脈心電学会が主催する試験であり、心電図に興味がある方であれば誰でも受験することができます。1級から4級があり、1級は「循環器専門医」、2級は「一般循環器医」、

合格率（2019年）	1級	2級	3級	4級	合計
出願者（人）	974	2,380	3,403	1,463	8,220
受検者（人）	906	2,132	2,942	1,252	7,232
合格者（人）	464	1,456	2,151	995	5,066
合格率（%）	51.20%	68.30%	73.10%	79.50%	—

# に合格しました！



3級は「一般臨床医」、4級は「心電図に興味のある医学生など」というように難易度が設定されています。

## ● 試験対策として

試験の半年前から定期的に勉強会を実施し、基本的な判読方法の勉強や、日常臨床で難解な心電図を持ち寄り、判読会を行いました。その甲斐があり、第5回（2019年度）心電図検定は受験者10名（1級：1名、2級：6名、3級：3名）が全員合格することができました。特に、初期研修医が1級に合格できたことは大きな功績でした。

「心電図って難しい！」から「心電図が読める！」という喜びに変わり、これからも多くの患者さまに役立つことを願っています。

	■ 1級
	■ 2級
	■ 3級





## 近中スタッフ紹介

このコーナーでは、近中スタッフの多彩な側面を紹介しています。

# 近中三線&ウクレレ部です！

手術室看護師 南 佳実



はじめまして。近中三線&ウクレレ部です。2016年に部を立ち上げ、月2回院内で練習しています。三線とは、沖縄の楽器として知られている弦楽器です。太さの違う3本の弦をはじくと、独特なやさしく温かい響きを奏でます。音色が良く、三線一つで歌って弾いて楽しむことができ、沖縄が持つ豊かな自然、文化を感じる事ができる楽器です。ウクレレとは、ギターに似た弦楽器の一種です。ポルトガルの楽器が起源であり、それがハワイに持ち込まれたことで独自の発展をしました。ハワイ語で「ウク」が「蚤」、「レレ」が「飛び跳ねる」を意味します。ウクレレを演奏する際に、指先が細かく跳ねるような動きになる様子が、「蚤が飛び跳ねている」と形容されたものです。



▶ 三線



▶ ウクレレ



▶伊丹シティホテルで行われた中央病院学会の懇親会での演奏

部を立ち上げた当初は全員初心者で、弦の押さえ方などの基礎から練習を始め、今では「涙そうそう」「海の声」「島唄」等を演奏できるようになり、伊丹シティホテルで行われた中央病院学会の懇親会の場で、演奏することができました。

これからもいろんな曲をみんなで練習して楽しくリフレッシュしていきたいと思います。



# 近中ねつとわーく

近中では、地域の医療機関と機能や役割を分担しながら、患者さまに継続した医療を提供しています。このコーナーでは、当院と連携している医療機関をご紹介しています。

## まい眼科クリニック

院長：藤原 舞子 先生

診療科

眼科

〒664-0027 伊丹市池尻1丁目27

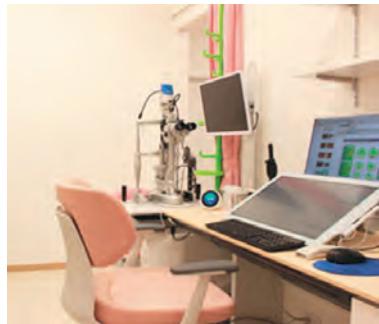
☎ 072-782-0182

午前診 9:00~12:00

月	火	水	木	金	土	日・祝
○	○	○	○	○	○	—
○	※	○	—	○	—	—

午後診 15:30~18:00

※火曜日午後は手術



まい眼科クリニック 藤原舞子です。

平成23年より近畿中央病院へ勤務し、多くの患者さんに出会い経験を積ませていただき、スタッフに支えてもらいました。この場を借りてお礼を申し上げます。

現在は、池尻にて40年来伊丹の地域医療に貢献されていた有澤眼科有澤基先生のご厚意をうけ令和元年5月よりクリニックを継いで診療しています。昆陽里のイズミヤの横で、駐車場も広く使ってもらえますし、病院でも行っていた眼瞼手術、白内障手術を日帰りで行っています。「人にやさしく」を理念に安心安全な医療を提供できればと存じます。病院や他科クリニックとの連絡を大事にしつつ眼科かかりつけとして気軽に寄りいただけるクリニックを目指しています。